



避難に関する情報

※今後こちらの情報は変更になる可能性があります。

市が出す避難情報と国や県が出す防災気象情報

大雨や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いた避難指示などの避難情報を発信します。**警戒レベル5【緊急安全確保】**、**警戒レベル4【避難指示】**または**警戒レベル3【高齢者等避難】**が発令された場合は、避難行動をとりましょう。



※各種の情報は警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

- ◎稲敷市が発令する避難情報等に注意してください!
- ◎避難情報の確実な収集手段を確認しておきましょう。

- 稲敷市公式ホームページ(防災サイト)
- 稲敷市公式SNS(LINE・X・Facebook)
- 稲敷市公式アプリ
- 稲敷市情報メール一斉配信サービス
- 防災行政無線(暴風雨の際は聞きづらくなります。ほかの手段を併せて活用してください。)

防災気象情報の伝達(プッシュ型・プル型)について解説します。(出典:気象庁ホームページより)

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/kentoukai/H24johokaizen/part1/part1-shiryo5.pdf>



特別警報(気象庁が公表)

- 尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- 特別警報が出てからの避難では遅いです。

| 特別警報の発表基準 | 現象の種類 | 基準 |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| | 大雨 | 台風や集中豪雨等により浸水害の起こるおそれが著しく大きい降雨量に相当する大雨が予想される場合 |
| | 土砂災害 | 台風や集中豪雨等により土砂崩れの起こるおそれが著しく大きい降雨量に相当する大雨が予想される場合 |
| | 暴風 | 暴風が吹くと予想される場合 |
| | 高潮 | 台風や温帯低気圧等に伴う海面の異常上昇により浸水害の起こるおそれが著しく大きくなることが予想される場合 |
| | 氾濫 | 台風や集中豪雨等により河川の氾濫の起こるおそれが著しく大きくなることが予想される場合 |
| | 波浪 | 高波になると予想される場合 |
| | 暴風雪 | 数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合 |
| | 大雪 | 数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合 |
| | (注)過去の災害事例に照らして、指数(土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数)、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などに関する客観的な指標を設け、これらの実況および予想に基づいて発表を判断します。 | |
| 津波 | 高い所で3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける) | |
| 火山噴火 | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(居住地域)*を特別警報に位置づける) | |
| 地震(地震動) | 震度6弱以上または長周期地震動階級4の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上または長周期地震動階級4)を特別警報に位置づける) | |

(*)噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報(居住地域)」(噴火警戒レベル4または5)を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報(居住地域)」(キーワード:居住地域嚴重警戒)を特別警報に位置づけています。



風水害等に備えて

一部内閣府広報誌から引用
 一部国土交通省ホームページから引用
 一部気象庁ホームページから引用
 一部茨城県ホームページから引用

警報・注意報情報をキャッチ! こんなときの我が家の安全対策

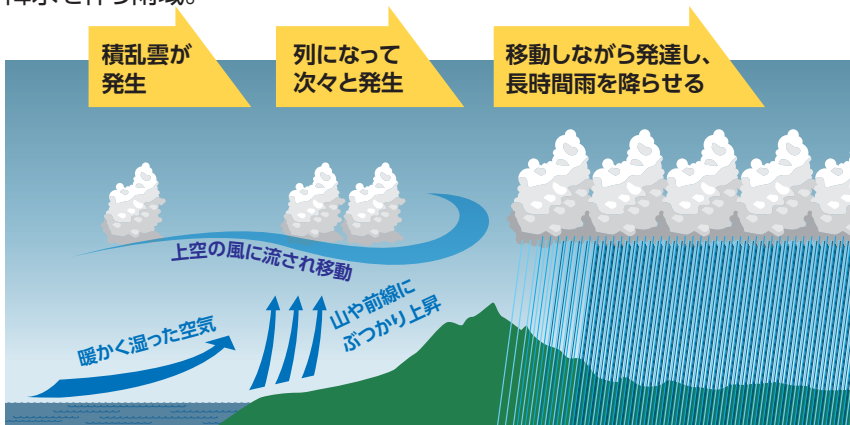
| | |
|-------------|------------------------------------------------|
| 特別警報 | 予想される現象が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きい旨を警告して行う予報 |
| 危険警報 | 重大な災害が起こるおそれが大きい危険な状況である旨を警告して行う予報 |
| 警報 | 重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報 |
| 注意報 | 災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報 |

雨の強さと降り方(単位:mm/時)

| 10以上～20未満 | 20以上～30未満 | 30以上～50未満 | 50以上～80未満 | 80以上～ |
|---------------------------|-----------------------|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 「やや強い雨」 | 「強い雨」 | 「激しい雨」 | 「非常に激しい雨」 | 「猛烈な雨」 |
| ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞き取れない。 | どしゃ降り。ワイパーを速くしても見づらい。 | バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになる。 | 滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなる。傘は全く役に立たなくなる。 | 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。 |

線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水を伴う雨域。



記録的短時間大雨情報とは

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析:解析雨量)したりしたときに発表されます。

この情報が発表されたときは、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しており、特に崖や川の近くなど、危険な場所にいる人(土砂災害(特別)警戒区域や浸水想定区域など、災害が想定される区域にいる人)は、避難情報を確認し、発令されている避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとってください。周りの状況を確認し、避難場所への避難がかえって危険な場合は、少しでも崖から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、身の安全を確保してください。避難情報が発令されていなくても、今後、急激に状況が悪化するおそれもあります。危険を感じた場合には、自ら安全な場所へ移動する判断をしてください。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、大きな被害をもたらすことがあります。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

台風の大きさと強さの目安

| 大きさ | 風速15m/秒以上の半径 | | 強さ | 最大風速(m/秒) | |
|-----|--------------|-----------------|-------|-----------------|-----------------|
| | 大型(大きい) | 500km以上～800km未満 | | 強い | 33m/秒以上～44m/秒未満 |
| | 超大型(非常に大きい) | 800km以上～ | 非常に強い | 44m/秒以上～54m/秒未満 | |
| | | | 猛烈な | 54m/秒以上～ | |

風の強さと吹き方(平均風速:m/秒)

| 10以上～15未満 | 15以上～20未満 | 20以上～30未満 | 30以上 |
|-----------------------|--------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 「やや強い風」 | 「強い風」 | 「非常に強い風」 | 「猛烈な風」 |
| 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 | 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 | 何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 | 屋外での行動はきわめて危険。多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 |